

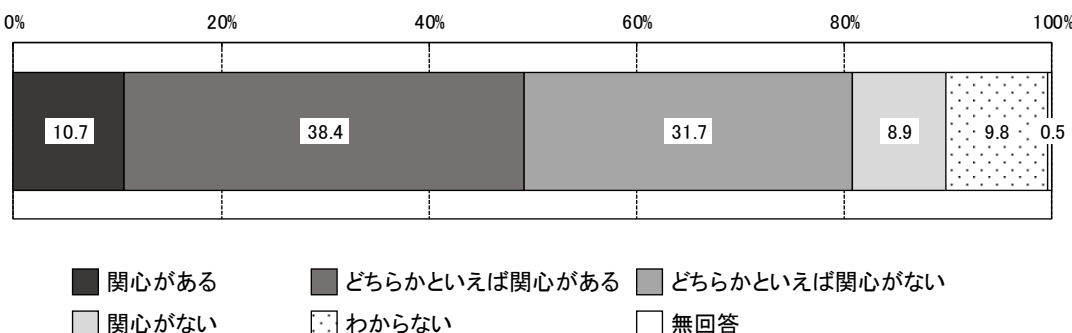
問9 県事業への関心の有無

問9 あなたは、岐阜県が行っている事業やその進め方について、関心をお持ちですか。
(1つだけ)

全体(図9-1)でみると、「どちらかといえば関心がある」が38.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば関心がない」(31.7%)、「関心がある」(10.7%)の順となっている。

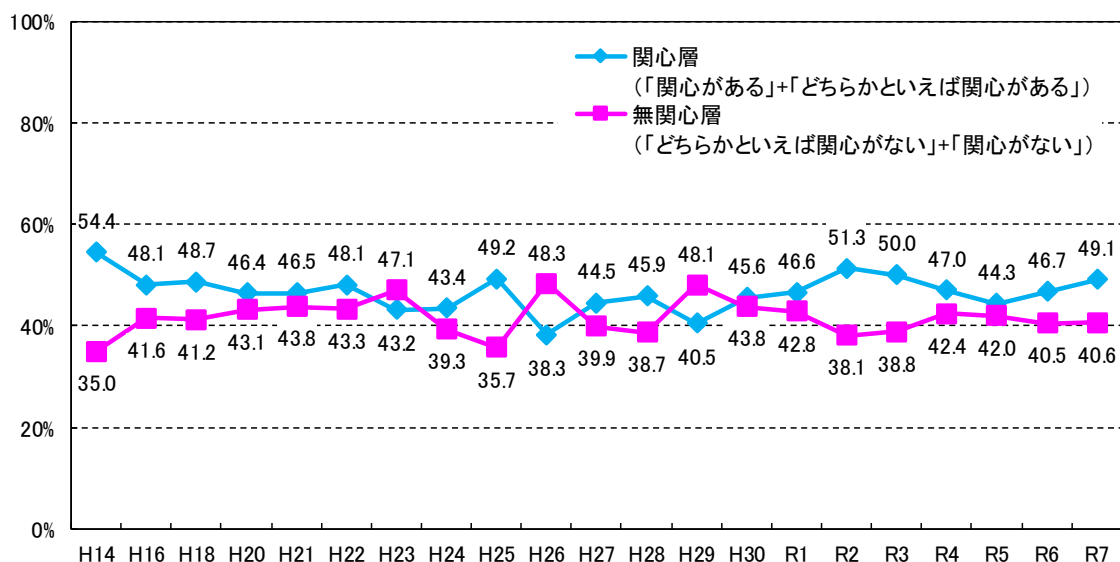
図9-1 県事業への関心の有無

回答者数(n=1,644)



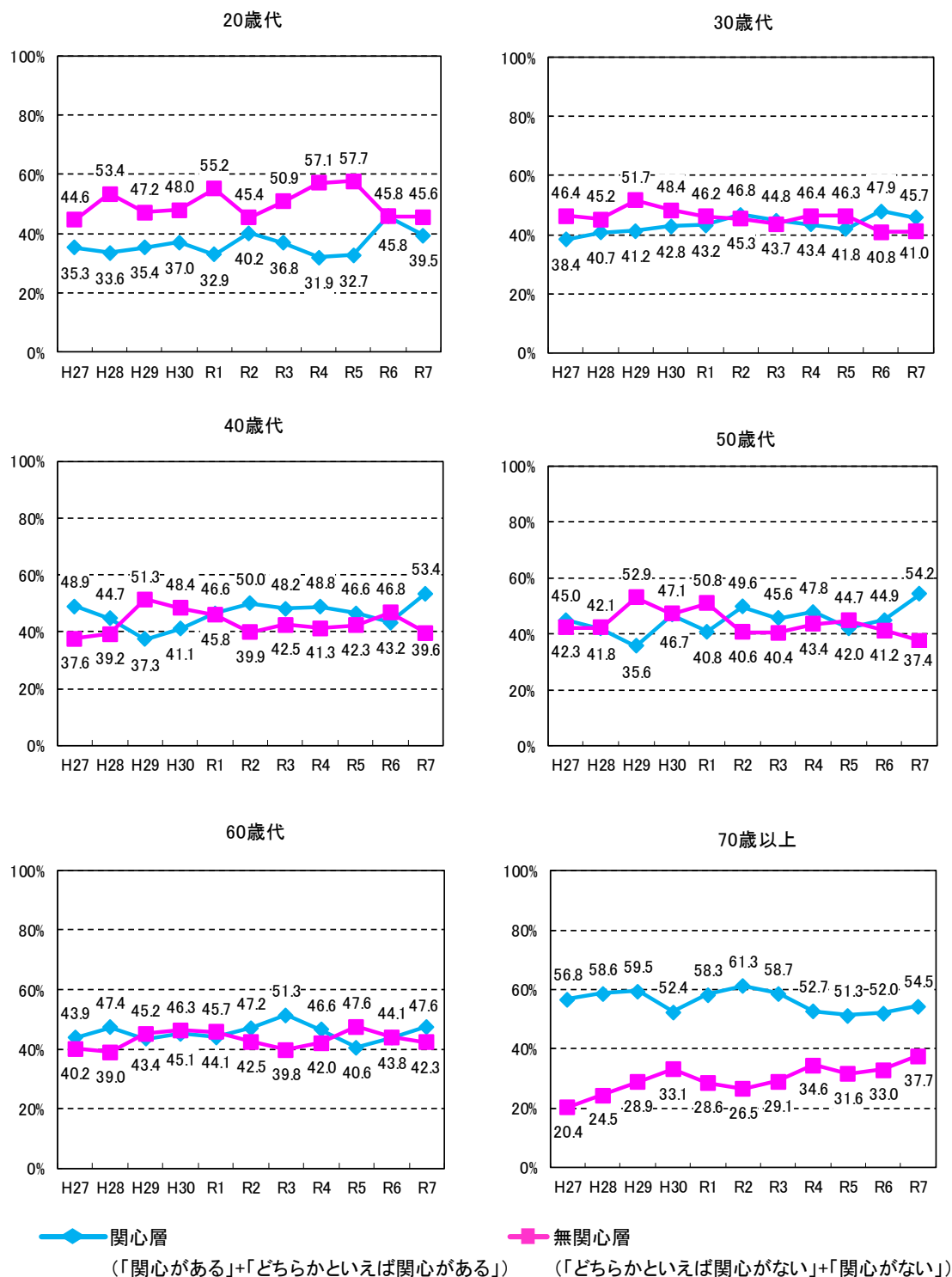
経年変化(図9-2)でみると、令和7年は、前年より「関心層」(「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」)が2.4ポイント増加し、「無関心層」(「どちらかといえば関心がない」+「関心がない」)が0.1ポイント増加しており、引き続き「関心層」が「無関心層」を上回っている。

図9-2【経年変化】県事業への関心の有無



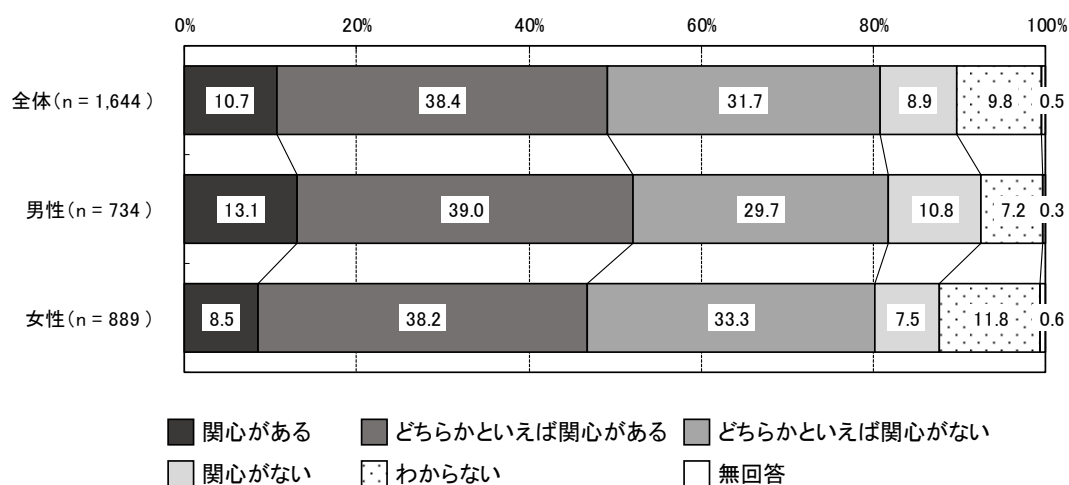
年代別の経年変化（図 9-3）でみると、「関心層」において、20 歳代、30 歳代を除くいずれの年代においても前年に比べて「関心層」が増加しており、そのうち 40 歳代では 10.2 ポイント増加している。また、40 歳代、60 歳代では、前年に比べて「無関心層」と「関心層」が入れ替り、「関心層」が「無関心層」を上回った。70 歳以上では一貫して「関心層」が「無関心層」より高くなっている。

図 9-3 【経年変化(年代別)】 県事業への関心の有無



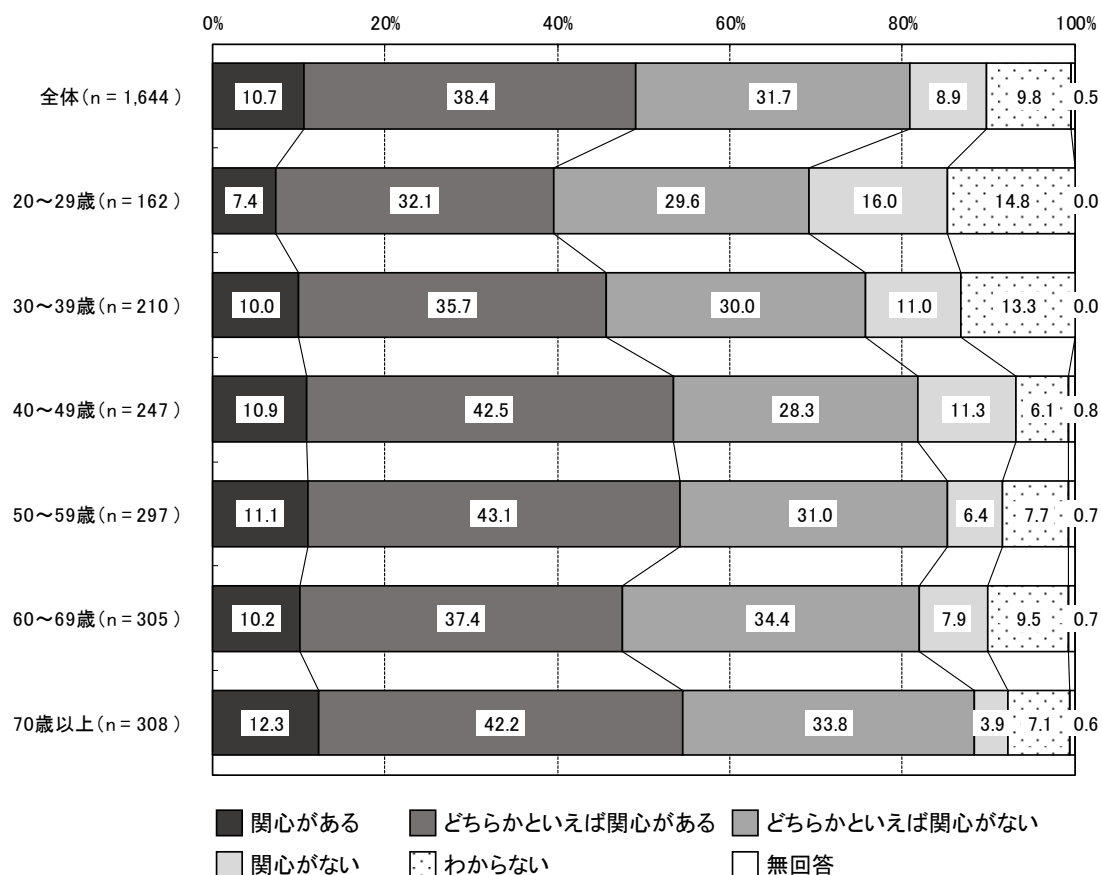
性別（図 9-4）でみると、男女ともに「どちらかといえば関心がある」が最も高くなっている。

図 9-4 【性別】 県事業への関心の有無



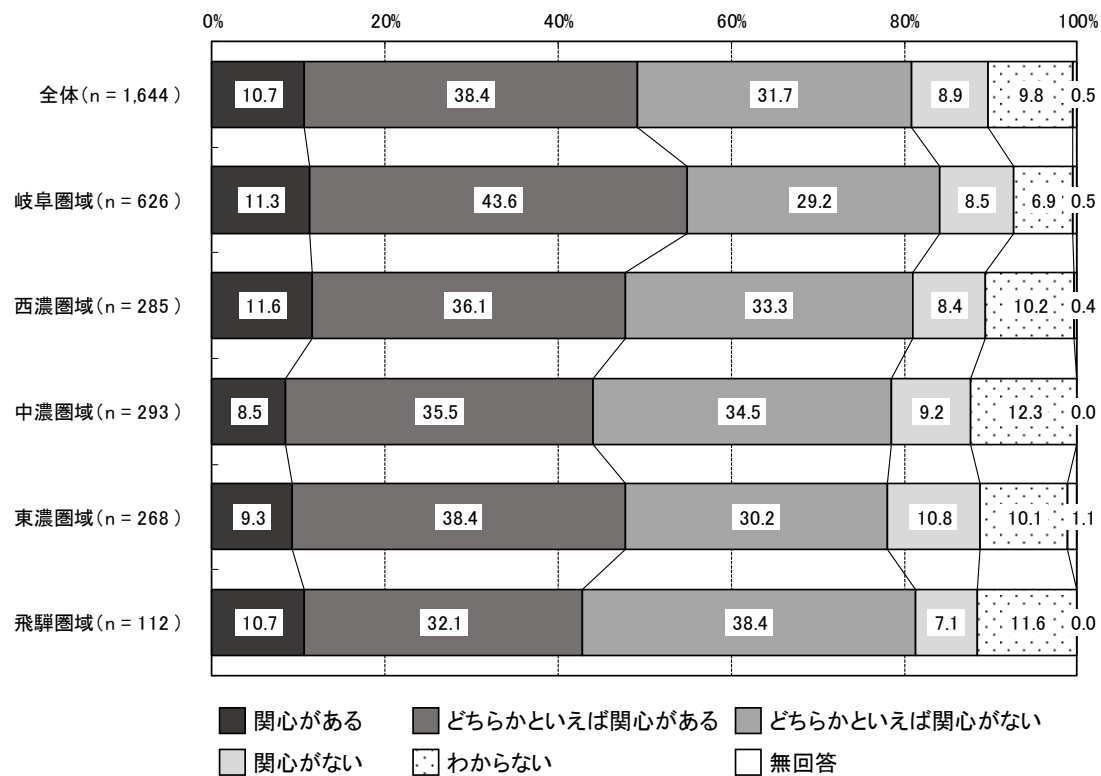
年代別（図 9-5）でみると、いずれの年代においても「どちらかといえば関心がある」が最も高くなっている。

図 9-5 【年代別】 県事業への関心の有無



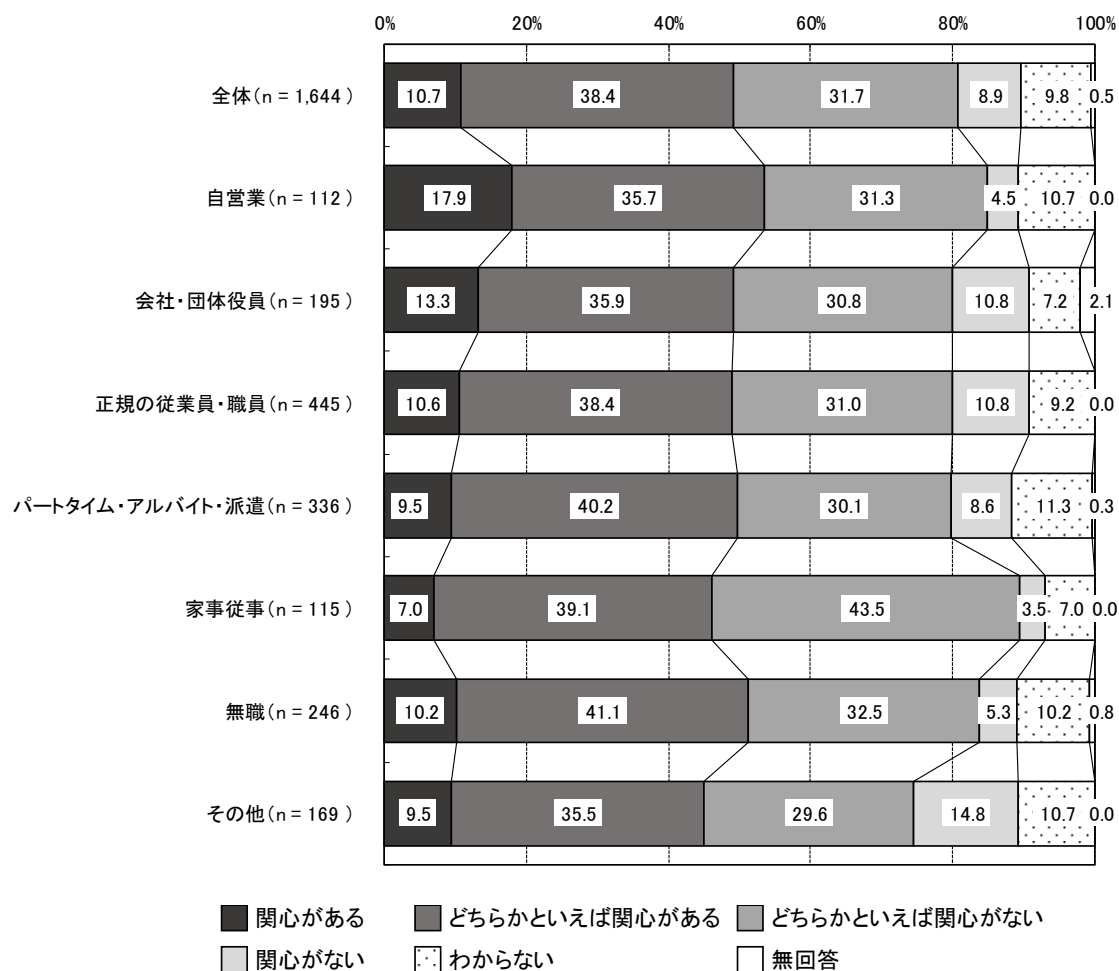
居住圏域別（図 9-6）でみると、飛驒圏域を除くいずれの圏域においても「どちらかといえば関心がある」が最も高く、飛驒圏域では「どちらかといえば関心がない」が最も高くなっている。

図 9-6 【居住圏域別】 県事業への関心の有無



職業別（図 9-7）でみると、家事従事を除くいずれの職業においても「どちらかといえば関心がある」が最も高く、家事従事では「どちらかといえば関心がない」が最も高くなっている。

図 9-7 【職業別】 県事業への関心の有無



※ その他には、自由業、学生を含む。